

「今、あなたに贈りたい漢字コンテスト」を使用した国語・道徳などの授業例

実施予定日	月 日	対象学年・クラス	
-------	-----	----------	--

用意するもの	●ワークシート(https://www.kanken.or.jp/kanji-contest/tool.html) ※コンテストサイトでは、2種類のワークシートが無料でダウンロードできます! ●過去受賞作品(https://www.kanken.or.jp/kanji-contest/former/) ●漢和辞典・国語辞典
--------	---

時間	テーマ	内容
5～10分	導入	▶漢字コンテストの内容を説明する。 例) 過去の受賞作品から先生が選んだ作品を紹介。作品についての感想や、気に入った作品について生徒と話す。作品の「贈りたい漢字」を隠し、もし自分が作者ならどんな漢字をここに書くかなどの意見を出し合う。
5分	メッセージを贈る相手を考える	▶ワークシートを配布し、メッセージを贈りたい対象を考える。 人を対象とした例 : 家族、友だち、自分自身、先生、歴史上の人物や著名人 人以外を対象とした例: ペット、大切な物、自然、好きなものや事柄、苦手なもの
20～30分	メッセージを書く	▶ワークシートに沿って、個人で考える。 指導ポイント①メッセージが書き出せない・字数が足りないときは、箇条書きで次の内容を書き出す。 ●伝えたい自分の気持ち(感謝・応援・謝罪・決意 など) ●その気持ちが起こるきっかけとなったエピソードや思い出 (いつ、どこで、誰と、どんなことがあったのか、なぜそう思ったのかを具体的に) 指導ポイント②自分で思いつく漢字や辞典で調べた複数の漢字の候補を出してから、ふさわしいものを選ぶ。 指導ポイント③作品を書き終えた後に推敲する(個人またはグループで)。 ●相手に贈るための文章になっているか ●贈る漢字とメッセージの内容が結びついているか ●誤字・脱字はないか
5分	まとめ	▶完成した生徒に作品を書いた感想を聞く・クラス内で作品を発表する。 例) 書くことで気づいたことや、なぜその一字にしたのか、どうしてその贈る相手にしたのか、など生徒の想いを聞く。